

16 若手農業者の定着に向けた課題と将来展望

○ 若狭地域の若手農業者との意見交換を通じ、若手農業者の確保・定着につなげる

○ きっかけ

慢性的な後継者不足や担い手への農地集積が限界を迎える中、地域農業の維持に向けて若手農業者の活躍が期待される。新規就農者の確保、定着に向けた話し合いを行うべく、意欲的に生産活動を行っている若手農業者との懇談会を開催した。

○ 取組の概要

小浜市の福井県嶺南振興局において、若狭地域の若手農業者団体 “WakasaAgri21” のメンバー6名、国、県、市町及びＪＡが一堂に会した懇談会を開催し、今後農業を続けていく上での課題などについて意見交換を行った。（農業者のうち、5名は雇用就農、1名は独立就農）

○ 懇談会での意見・要望など

★独立就農について

- ・ 新規就農者に対する支援の要件が厳しく考えていない
- ・ 雇用就農は、会社には守られている感があり、このまま続ける
- ・ 農地を守るために独立就農したが、経営は厳しい
- ・ 今は研修中だが、いずれ独立したい

★今後の課題等

- ・ 水稻中心の経営を検討しているが、冬期間の収益確保が課題
- ・ 園芸作物に挑戦してみたが、獣害に遭い、継続していけない
- ・ 獣害対策は、耕作者で対策することが多く、農業に無関心な地権者が多い
- ・ 雇用就農して、技術面の実績はできたので、今後は経営にも携わっていききたい



令和5年11月28日小浜市内での意見交換の様子